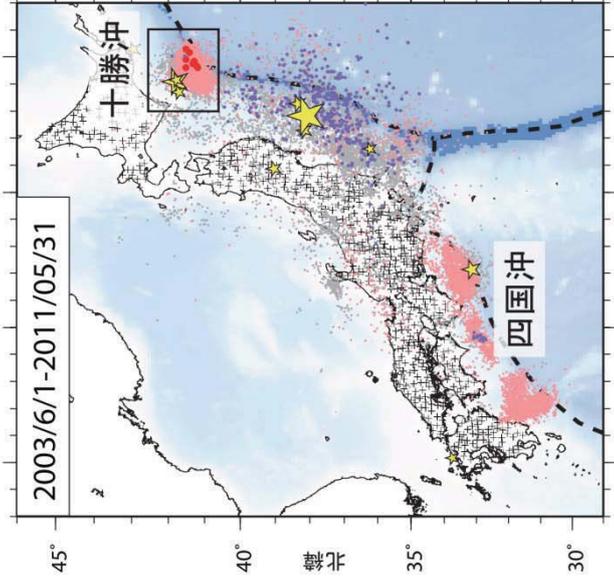
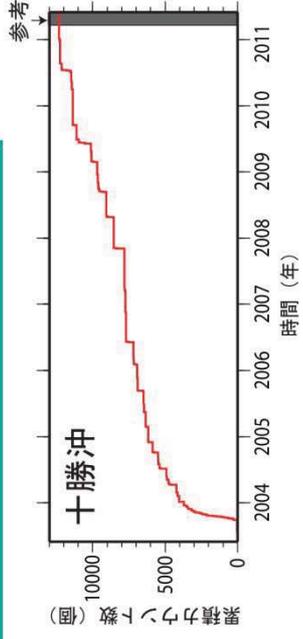


日本周辺における浅部超低周波地震活動 (2011年2月～5月)

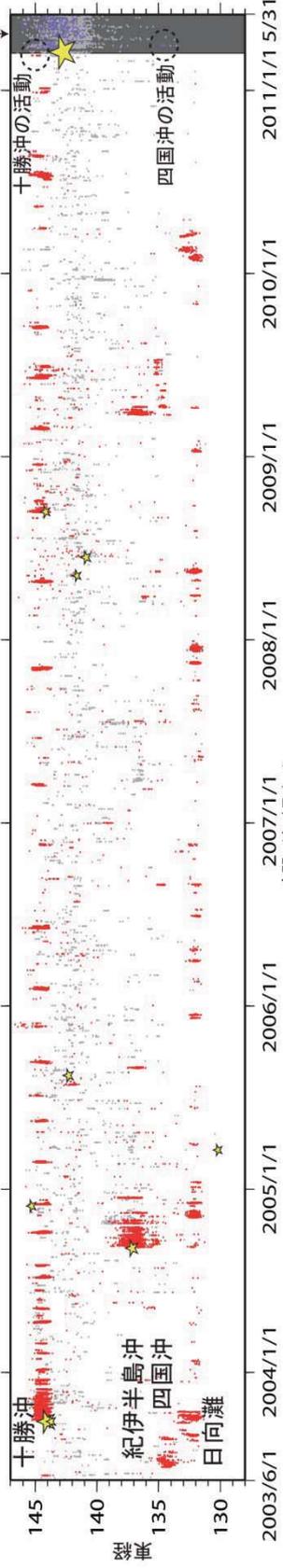
- 東北地方太平洋沖地震発生後は通常の地震と超低周波地震との自動識別が困難 (→3月11日以降は参考結果, 3月および4月に未処理の日あり)
- 3月10日22時頃から11日0時頃に、十勝沖で小規模な超低周波地震活動を検出, それ以降は検出なし。
- 3月28日から4月3日には、四国沖 (室戸岬沖) で小規模な超低周波地震活動を検出。



第1図. 2003年6月1日から2011年5月31日までの期間に検出されたイベントの震央分布. Asano et al. (2008) の手法によって検出されたイベントを防災科研 Hi-net の手動, または自動観測震源と照合し, 対応する地震が見出されたイベントを灰色丸印で, それ以外を桃色 (1月31日以前), 赤色 (2011年2月1日から3月11日の東北地方太平洋沖地震の発生までの丸印) でそれぞれ示す. これらの赤色および桃色丸印のイベントの多くは, 周期 10 秒以上に卓越する超低周波地震であるが, 紫色丸印の多くは照合によって除去されなかつた通常の地震と考えられる. また, 期間内に発生した M7 以上の地震の震央を黄色星印で示す (ただし, 3月11日以降は本震のみ).



第2図. 十勝沖における検出イベントの累積カウンタ数の時間変化. 幅 60 秒間の解析時間窓を 15 秒毎に設定し, それぞれの解析時間窓内にイベントが検出される度に 1 カウンタと数えるよう定義した.



第3図. 2003年6月1日から2011年5月31日までの期間に検出されたイベントの時空間分布. 検出されたイベントを防災科研 Hi-net 手動観測震源と照合し, 対応する地震が見出されたイベントを灰色丸印で, それ以外を赤色 (東北地方太平洋沖地震前) および紫色 (地震後) の丸印でそれぞれ示す. 星印は第1図に同じ.